

鶴見緑地プチ観察会の報告

2016年2月11日(木・祝)9:00～11:00

花博記念ホールでの緑の交流広場のパネル展示作業の前に 水鳥と植物の観察を計画

参加者： 10名

9:00 地下鉄 鶴見緑地公園駅前集合

呼びかけた私が集合時間に遅刻するというポカでスタートしたので、ゆるい観察になりました。まず、メインの大池の水鳥を観察しました。小さなカイツブリやオオバンなどと一緒にオナガガモやヒドリガモは双眼鏡なしに足元でゆっくり観察できました。他に、ホシハジロやキンクロハジロもたくさんいました。見分けにくいメスたちの種類も少しわかりました。よく見るユリカモメは不在でした。不思議とコガモは見ないです。バンは時折見かけましたが、この時は気づきませんでした。

大池を西に回り込んで国際庭園の西門を入ったメタセコイヤの樹上のアオサギのコロニーを見上げました。こちらも住宅難のようで、巣の確保に必死なようです。その後 日本庭園のスイレン池の端に陣取ったカメラマン達の前にお目当てのカワセミが居て捕食の様子も見られました。愛好家が連れてきていた猛禽類のハリスホークも間近に見て、鋭い眼光に嘴と足の爪にも驚きました。

待望していた河津ザクラもちらっと咲いていて春近しも実感できました。その後は鶴見新山を回り込んでセンニンソウの長い白ひげを持った種子を見て、自然体験観察園のクヌギの木でクヌギカメムシの卵塊や一齢幼虫を観察しました。

最後に 終始楽しいそぞろ歩きになりましたが、もう少しじっくり見たかった方も多いと思います。また、せっかく参加して貰った スタッフの活躍の場面が組み込めなかったのも反省です。



オナガガモ♂



オナガガモ♀



参加スタッフ



キンクロハジロ♂



キンクロハジロ♀



アオサギ



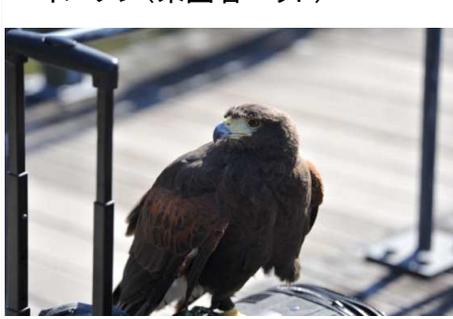
ホシハジロ♂



カワセミ



イヌワシ(来園者ペット)



センニンソウの実



梅林の紅梅



クヌギカメムシ

当日の写真がなく一週間後の様子です。

